

平成30年度事業報告書

平成30年 4月 1日から 平成31年 3月31日まで

特定非営利活動法人だっぴ

1 事業実施の成果

別紙のとおり

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (円)
若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	中学生・大学生・地域の大人の多世代交流事業	年20回	各中学校・高校	3名	1,938名	5,622,835
進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	大学生と地域の大人の交流事業	5月19日 9月17日 1月20日	きらめきプラザ 美作大学 IPU・環太平洋大学	2名	207名	210,262
活動内容を広く知らしめ、啓蒙するための啓発事業	講演・研修等	通年	依頼のあった事業所	1名		3,407,790
その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	災害支援事業	10月17日 11月18日	矢掛高校 真備公民館	2名	180名	1,124,200

(2) その他の事業

なし

各事業の運営に関して

1. 中学生・高校生だっぴ

中高生×大学生(世代)×大人の三者がフラットな関係での対話を通して、お互いの価値観などを共有することで、中高生の未来への期待や自分への自信をつくる。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生が自分と違う意見を認め、自己表現することへの自信をもつ ● 中高生の地域や社会への当事者意識を高める ● 中高生が大人に対するイメージを再構築し、未来への希望をもつ ● 大学生が地域参画の機会を通して、成長する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生の自己肯定感や自己効力感を高めることに貢献できた。 ● 中高生の大人に対するイメージを再構築し、将来への期待を向上することができた。 ● 中高生や大学生の地域社会に対する当事者意識を高めることができた。 ● 公募開催枠の設置により、地域の中で多世代交流の機会を継続することができた。

実績

実施校・参加者一覧

実施日	名称	会場	参加者数			
			中学生	高校生	キャスト	大人
6/22	岡山県立津山東高校生だっぴ	津山東高校		76	23	34
8/11	備前市中高生だっぴ	リフレセンターびぜん	22	1	16	16
8/31	備前市立日生中学生だっぴ	日生防災センター	57		24	29
9/20	備前市立伊里中学生だっぴ	伊里中学校	34		18	19
9/22	笠岡市立新吾中学生だっぴ	新吾中学校	92		22	35
10/20	和気町立佐伯中学生だっぴ	佐伯中学校	51	17	15	26
11/10	高梁市中高生だっぴ	高梁総合文化会館	21	6	14	14
11/17	岡山県立津山中学生だっぴ	津山中学校	76		13	35
11/22	津山市立鶴山中学生だっぴ	鶴山中学校	61		36	32
11/28	岡山市立建部中学生だっぴ	建部中学校	39		6	20
12/8	五野市立荘内中学生だっぴ	荘内中学校	79		26	40
1/12	早島町立早島中学生だっぴ	早島中学校	93		45	50
1/19	岡山市立岡山中央中学生だっぴ	岡山中央中学校	134		81	79
2/12	津山市立勝北中学生だっぴ	勝北中学校	55		21	28
2/17	西栗森村中高生だっぴ	西栗森小学校	17		15	10
3/3	吉備中央町中学生だっぴ	農業振興センター	11		12	11
3/5	津山市立久米中学生だっぴ	久米中学校	52		18	35
3/17	和気町リーダーだっぴ	和気岡谷高校		22	5	
	計		916	100	409	513

課題・展望

多世代交流の中で、中学生が自分の意見や価値観を表現し、それが受け入れられることで、中学生の自己肯定感・自己効力感を高めることができている。地域の大人や大学生との対話が、中学生の社会観・キャリア観形成につながり、将来への期待や地域社会への愛着・当事者意識も培われている。また、地域の大人や大学生にとっても、異年齢の存在から学び合う機会となっている。こうした多世代交流の機会を地域で継続していけるかたちを模索すべく、それぞれの地域へのノウハウ移転や資金調達の課題をクリアしていきたい。

3. テーマだっぴ

テーマを絞った「若者×大人」の交流機会。教育の道を志す学生と教育に関する様々な世界で活躍する大人が、多様な教育観を学び合う「教育×だっぴ」や、岡山の企業人と“働く”について考えることを通して、学生が自分の働き方について視野を広げて考える「働く×だっぴ」を実施。

目標	成果
<p>(教育×だっぴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育の道を志す学生が教育の世界の選択肢をより多く得る。 ● 教育への関わり方の選択肢を吟味することを通して、自分の教育観と向き合い、教育へ関わる熱量を高める。 <p>(働く×だっぴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生が自分の働き方について考え、働くイメージをより鮮明にすることができる。 ● 多様な働き方に出会うことで、学生が自分の視野を広げることができる。 	<p>(教育×だっぴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加した学生が様々な教育の働き方を知る機会になった。 ● 参加者が多様な教育観を理解し、自分なりの教育の軸を見つけようとするきっかけの場にすることができた。 <p>(働く×だっぴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加した学生が、自分の働くイメージをより鮮明に持つことができた。 ● 参加した学生の岡山の企業への興味関心を高めることができた。

実績

実施イベント・参加者一覧

教育×だっぴ						
実施日	イベント名	開催場所	参加者数			
			中学生	大学生	ゲスト数	キャスト
10/8	教育×だっぴin岡山大学	岡山大学	1	26	21	7
働く×だっぴ						
開催日	イベント名	開催場所	参加者数			
			高校生	大学生	ゲスト数	キャスト
9/28	働く×だっぴ-岡山の魅力的な企業編- withベクトル大学	ベクトル大学		28	26	



課題・展望

教育×だっぴは岡山大学教育学部と、働く×だっぴはベクトル大学と連携して実施した。教育×だっぴでは、教員養成課程において、多様な教育者との対話は教師教育開発の可能性を感じることができた。働く×だっぴでは、企業人との対話が、学生の“前向きな社会化”を促していることを感じられた。どちらの機会も、大学生・大人ともに参加者層をより多様にしていきたい。

課題・展望

事業にチャレンジするにあたり、同様に生きづらさを抱えながらもこれまで参加者やボランティアとして関わり、同じような人のサポートをしたいと願ってきた若者を選任アルバイトとして一緒に事業に取り組んだ。結果として、現場の声に沿ったモデルプログラムを作ることができた。団体内にもノウハウとして残すことができた。このモデルを今後どう活用していくか、具体的な部分は引き続き協議を重ねていき、当法人以外の団体で活用可能なかたちを目指す。

6. 教員研修

「学校教員×地域人材×大学院生」の対話プログラム。岡山後楽館高校の教員研修の名目で、岡山大学教職大学院と連携し、独立行政法人教職員支援機構の「NITS カフェ」事業として実施。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教員が福祉や社会教育、キャリアなどの専門性をもつ地域の人材とつながり、その生徒への教育力や指導力、理解力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教員と地域人材とのつながりをつくることできた。 ● 教員同士のコミュニケーション活性化によって、モチベーション向上やリフレッシュにつながった。

実績

日時：平成30年8月28日 9:30～12:00

場所：岡山市立岡山後楽館高校

参加者：教員17名

地域人材7名（「福祉」3名「社会教育」2名「キャリア形成」2名）

学生12名（岡山大学教職大学院）



課題・展望

「学校教員×地域人材×大学院生」の対話の機会が、学校教員にある程度の好影響を及ぼすことは分かった。しかし、プログラムの細かい部分の修正は必要であると感じた。単発的なものではなく、その後の広がりも設計していきたい。今後、社会に開かれた教育課程が求められていく中で、こうした教員研修のニーズは高まってくると考えられるため、プログラム開発を引き続き行っていく。

10. 災害支援（場づくり支援）

西日本豪雨災害の支援として、被災した中高生と大人の対話の機会をつくり、中高生のモチベーションアップを図った。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生、大学生を対象に地域の大人との安心安全な交流を実現するプログラム「だっぴプログラム」を通じた被災地の中高生のサポートを行う。被災した中高生が地域の多様な大人と対話する機会を設け、その中で“参加した生徒のみんなが、魅力的な大人と出会い、交流し、楽しい時間を過ごしなが、気持ちが楽になったり、元気な力が湧いてくる”そんなきっかけを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と連携して開催したことで、多くの被災した生徒に機会を届けることができた。 ● 被災した中高生にとって、この場での大人との対話が“これからの活力”になった。 ● 参加した真備中学校の中学生は、自分達以外の友達にもこのような機会が必要で届けたいと学校に機会を作ってもらえるように提案する準備をしている。

実績

実施イベント・参加者一覧

実施日	イベント名	開催場所	参加者数			
			中学生	高校生	ゲスト数	キャスト
10/17	矢掛高校生だっぴ	矢掛高校		78	53	8
11/18	中生だっぴ@真備公民館	真備公民館	24		4	13

公益社団法人 Civic Force 「NPO パートナーシップ協力プログラム」の委託で実施



課題・展望

災害支援は長期戦になることが予想される。学校や教育委員会と連携して、支援事業を実施できた。今後は、地元の中学校や子ども達の支援を行っている団体と情報交換を行いつつ、今回のような機会の必要性について確認していきたい。その上で、矢掛高校で実施した結果も含め地域の他の学校に報告し、このような機会の必要性を認識してもらおうと共に次の機会創出や継続的な地域の関わりを模索していきたい。

活 動 計 算 書

【税込】（単位：円）

特定非営利活動法人だっぴ

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	60,000	
賛助会員受取会費	567,378	627,378
【受取寄付金】		
受取寄付金		1,596,055
【受取助成金等】		
受取助成金		2,924,000
【事業収益】		
自主事業収益	3,250,111	
受託事業収益	9,747,510	12,997,621
【その他収益】		
受取 利息	34	
雑 収 益	6,252	6,286
経常収益 計		18,151,340
【経常費用】		
【事業費】		
（人件費）		
給料 手当(事業)	4,398,880	
法定福利費(事業)	679,048	
人件費計	5,077,928	
（その他経費）		
業務委託費(事業)	1,371,203	
諸 謝 金(事業)	574,883	
印刷製本費(事業)	522,611	
会 議 費(事業)	5,506	
旅費交通費(事業)	791,885	
通信運搬費(事業)	40,516	
消耗品 費(事業)	44,756	
賃 借 料(事業)	34,920	
広告宣伝費(事業)	1,747,458	
租税 公課(事業)	24,200	
研 修 費(事業)	29,200	
支払手数料(事業)	6,509	
支払寄付金(事業)	30,000	
雑 費(事業)	63,912	
その他経費計	5,287,559	
事業費 計		10,365,487
【管理費】		
（人件費）		
給料 手当	549,231	
法定福利費	112,943	
人件費計	662,174	
（その他経費）		
諸 謝 金	20,000	
会 議 費	1,617	
旅費交通費	88,465	
通信運搬費	137,671	
消耗品 費	174,209	
修 繕 費	23,760	
賃 借 料	373,340	
新聞図書費	5,644	
諸 会 費	7,000	
租税 公課	29,850	
支払手数料	3,964	

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人だっぴ

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

雑 費	21,295		
その他経費計	886,815		
管理費 計		1,548,989	
経常費用 計			11,914,476
当期経常増減額			6,236,864
税引前当期正味財産増減額			6,236,864
当期正味財産増減額			6,236,864
前期繰越正味財産額			4,487,942
次期繰越正味財産額			10,724,806

貸借対照表

特定非営利活動法人だっぴ
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	139,397		
普通預金	12,275,782		
ゆうちょ普通	(3,261,792)		
ゆうちょ振替	(1,125,918)		
ゆうちょ5050	(4,785)		
ろうきん	(957,560)		
中国銀行	(6,925,727)		
現金・預金計	12,415,179		
(売上債権)			
未収金	1,136,120		
売上債権計	1,136,120		
流動資産合計		13,551,299	
資産合計			13,551,299
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	2,661,376		
預り金	165,117		
住民税	(211,700)		
雇用保険	(12,198)		
社会保険	(△ 106,831)		
市民税	(△ 148,100)		
所得税	(△ 5,558)		
源泉徴収税	(29,194)		
その他補助	(172,514)		
流動負債合計		2,826,493	
負債合計			2,826,493
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		4,487,942	
当期正味財産増減額		6,236,864	
正味財産合計			10,724,806
負債及び正味財産合計			13,551,299

財務諸表の注記

特定非営利活動法人だっぴ

平成31年 3月31日 現在

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです

科 目	(1) 若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	(2) 進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	(3) 活動を広く知らしめ、啓蒙するための啓発事業	(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	合 計
【人件費】					
給料 手当 (事業)	4,100,000	0	0	298,880	4,398,880
法定福利費(事業)	679,048	0	0	0	679,048
人件費 計	4,779,048	0	0	298,880	5,077,928
【その他経費】					
業務委託費(事業)	199,584	0	1,171,619	0	1,371,203
諸 謝 金 (事業)	38,711	130,000	252,604	153,568	574,883
印刷製本費(事業)	165,590	710	40,554	315,757	522,611
会 議 費 (事業)	800	500	1,056	3,150	5,506
旅費交通費(事業)	320,124	70,370	138,523	262,868	791,885
通信運搬費(事業)	3,544	2,160	2,395	32,417	40,516
消耗品 費 (事業)	29,440	6,090	7,277	1,949	44,756
賃 借 料 (事業)	18,180	0	10,140	6,600	34,920
広告宣伝費(事業)	0	0	1,713,098	34,360	1,747,458
租税 公課 (事業)	0	0	24,000	200	24,200
研 修 費 (事業)	16,200	0	0	13,000	29,200
支払手数料(事業)	2,260	432	1,966	1,851	6,509
支払寄付金(事業)	0	0	30,000	0	30,000
雑 費 (事業)	49,354	0	14,558	0	63,912
その他経費 計	843,787	210,262	3,407,790	825,720	5,287,559
合 計	5,622,835	210,262	3,407,790	1,124,600	10,365,487

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は10,724,806円ですが、そのうち2,450,000円はだっぴ事業と普及啓発事業、被災地支援事業だけに使用するよう制約されています。したがって、使途が制約されていない正味財産は8,274,806円です。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
福祉人材育成基金助成金	0	500,000	500,000	0	当法人の目的を達成するために必要な事業の助成金
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金	0	50,000	50,000	0	〃
教育文化事業助成金	0	100,000	100,000	0	活動を広く知らしめ、啓蒙するための啓発事業の助成金
教育文化事業助成金	0	300,000	300,000	0	〃
被災地支援事業助成金	0	1,500,000	1,500,000	0	その他、本法人の目的を達成するために必要な事業の助成金

財 産 目 録

特定非営利活動法人だっぴ
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	139,397
普通預金	12,275,782
ゆうちょ普通	(3,261,792)
ゆうちょ振替	(1,125,918)
ゆうちょ5050	(4,785)
ろうきん	(957,560)
中国銀行	(6,925,727)
現金・預金計	12,415,179

(売上債権)

未収金	1,136,120
売上債権計	1,136,120

流動資産合計

13,551,299

資産合計

13,551,299

《負債の部》

【流動負債】

未払金	2,661,376
賃借料	161,000
講師謝金、未払い委託費等	1,799,466
給与3月分	528,183
社会保険料2・3月分	172,727

預り金

165,117

住民税	211,700
雇用保険	12,198
社会保険	△ 106,831
市民税	△ 148,100
所得税	△ 5,558
源泉徴収税	29,194
その他補助	172,514

流動負債合計

2,826,493

負債合計

2,826,493

正味財産

10,724,806

前事業年度の年間役員名簿

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

特定非営利活動法人だっぴ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬の有無
1	代表 理事	かしはらたくし 柏原拓史		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
2	副代表 理事	ふじいひろや 藤井裕也		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
3	理 事	みやけまさふみ 三宅真史		自 平成30年4月1日 至 平成30年10月17日	報酬なし
4	理 事	なかのあきこ 中箭貴子		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
5	理 事	むらなかゆき 室貴由輝		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
6	理 事	かわはらあやな 河原彩花		自 平成30年4月1日 至 平成30年10月17日	報酬なし
7	理 事	もろふしなつみ 森分志学		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
8	監 事	みやまざい 宮崎栄一		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし